

中学校

教科【国語】

単元【話の構成を工夫しよう】

主体的・対話的で  
深い学びのポイント

友達のスピーチの話題や考えを理解し、発想を広げる活動を通して、自身の話題を広げるとともに、スピーチの内容のイメージをもつことで、より主体的に学ぶことができる。

ICT活用のポイント

自分の考えを記入したマッピングのワークシートを画面共有し、全体で交流する。振り返りを共同編集することで、他者の意見に触れることができ、深い学びにつながる。

使用する  
ICT機器生徒：タブレット  
教師：PC、タブレット使用するアプリ・  
クラウドサービス等

Google (Classroom、スプレッドシート)

クラウド  
の活用
教材の配布・回収等  
生徒の学習状況の把握  
資料等の共有  
その他（生徒の意見交流）
本時の  
ねらい

マッピングや他者との交流を通して、スピーチの話題について発想を広げ構想をもつ。

主な学習活動  
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

- 前時の学習を確認をする
- 本時の目標を確認する

一斉



- ・Google Classroomで前時の学習について振り返りを行うとともに、本時の目標について確認する。
- ・Google Classroomに送信された授業内容を理解する。

指針2

ICT機器



展開

- マッピングに取り組む

個別



- ・紙のワークシート（マッピング）にスピーチの話題について、自分の考えを整理し記入する。
- ・発表者はカメラで自分のワークシートを撮影し、共有フォルダにUPする。

指針2

ICT機器



ここで評価

- マッピングを交流する

協働

一斉



- ・友達の作成したマッピングに対して、発想が広がりそうな箇所を見付けコメントを入力する。

- 自分の考えを深める

個別



- ・友達からのコメントを参考にマッピングの発想を広げ、自分の考えを深めるとともに、スピーチの構想をもつ。

指針1

ICT機器

【思】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。

終末

- 本時の振り返りをする

個別

協働



- ・スプレッドシートで作成した振り返りシートに共同編集機能を利用して記入する。

指針3

クラウド

ICT機器



- ・他の生徒の振り返りの内容を読み、本時の学びを共有する。

クラウド

ICT機器



※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】=知識・技能 【思】=思考・判断・表現 【態】=主体的に学習に取り組む態度